

製品名: リン酸化 AKT1 (S129) (16F6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe05847**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	AKT1
別名	AKT 1; PKB; PKB-ALPHA; PRKBA; Protein Kinase B Alpha; Protein kinase B; Proto-oncogene c-Akt; RAC Alpha; RAC-alpha serine/threonine-protein kinase; RAC-PK-alpha;
遺伝子 ID	207.0
SwissProt ID	P31749
免疫原	ヒト AKT1 の Ser129 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

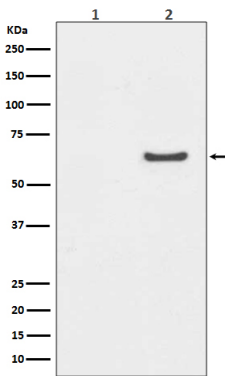
背景

Akt (PKB または Rac と呼ばれる) は、生存とアポトーシスの制御において重要な役割を果たします。このタンパク質キナーゼは、インスリンや様々な増殖因子・生存因子によって活性化され、PI3 キナーゼを介したワートマンニン感受性経路で機能します。Akt は、リン脂質結合と PDK1 による活性化ループの Thr308 のリン酸化、およびカルボキシ末端の Ser473 のリン酸化によって活性化されます。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) アルカリホスファターゼ処理した MCF-7 細胞溶解物、(2) MCF-7 細胞溶解物における Phospho-AKT1 (S129) 発現のウェスタンブロット解析。